

## 大崎地区：色麻町立色麻中学校区の取組

【推進校】 色麻町立色麻小学校 色麻町立色麻中学校 宮城県加美農業高等学校

【目標】 テーマ「夢の実現 Will・Comer（し・か・ま）」

小・中・高・地域の豊かなかかわり合いを通して、様々な体験から豊かな価値観を育むとともに、自分のよさや果たす役割を考え、色麻のひと・もの・ことに学び、将来の夢や目標に向かって主体的に生きる児童生徒を育てる。

【取組の概要】

### 1 異校種間連携

これまで行ってきた加美農業高等学校との連携を土台に、小・中・高における縦のつながりを意識して、異校種間の交流を位置付ける。

### 2 地域連携

色麻のひと・もの・ことについて、再確認し、目標に向かって努力することや役割を果たすことの大切さに気付いたり、これからの自分にできることを考えたりできるように、交流と体験の工夫を図る。

### 3 その他の連携

地域を支える人材としての自覚を深め、改めて地域資源を見直すとともに、自分たちが住んでいる地域をよりよくしていこうとする態度と意欲を高める。



白菜の栽培



加美農高生の発表

【成果】

#### ○異校種間連携について

各校の連携事業活動における豊かなかかわり合いを通して、よりよい人間関係を築き、将来の夢や目標に向かって主体的に学び生きていこうとする力を育成することにつながった。

#### ○地域連携について

特に、小学校では地域学校協働本部や地元企業からの協力を得て、地域の産業のすばらしさを実感し、将来の仕事や生活についても考える機会となった。

#### ○その他の連携について

中学校3年生では、宮城大学と連携し、インターネットのデータを活用する方法や地域資源を使った町づくりについて学ぶことができた。

【課題】

今回の支援事業を持続可能なものにしていくことが、課題の一つである。そこで、以下のことを踏まえ、目標や夢の実現に向かって主体的に生きる児童生徒の育成を目指していきたい。

○各校の担当者会議を年間行事計画等に位置付け、担当者の引継ぎを確実にやっていく。

○身に付けさせたい資質・能力、重点目標を学校・家庭・地域で共有していく。

○「かかわる」「もとめる」「はたす」の視点に基づき、発達段階に応じた系統的な志教育の充実と改善を図るため、各校のカリキュラムの共通理解の下、協働で推進していく。

#### ◆異校種間連携について

日常的に交流できることは小中一貫校の強みである。交流学級活動以外でも教育活動全体でできることを探り、互いに頑張っている取組を紹介し、認め合う活動を検討していく。

#### ◆地域連携について

児童生徒の課題解決学習がより主体的になるよう効果的な連携や学習形態について吟味することで、自分の進路や職業を考える機会となり、望ましい職業観の形成につなげられるようにする。